

3 10年後に目指す 基本目標(施策の大綱)

将来像を実現するために、

次の**6つの基本目標**を設定し、
10年間取り組んで行くこととします。

なお、**3つのまちづくりポリシー**を
全施策共通の概念として、
施策・事業の推進に努めていくこととします。

つむ 紡ぐ 1

すべての住民に優しい 健康・福祉施策の充実

子どもたちの夢を育て、ゆとりを持った子育てができる環境づくりを推進します。
子どもや若い世代の健康づくりへの意識や習慣付けを重視するとともに、高齢者や障害のある方も生き活きと暮らせるまちづくりに取り組みます。
生活習慣病や介護の予防事業を充実し、いつまでも住み慣れたまちで自分らしく暮らし続け、必要な時に必要な支援が得られるよう整備を進めます。

つむ 紡ぐ 2

「学びのまち・吉岡」の推進

すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」が実現できるよう、教育の人的・物的環境を整備し、子育て世帯に選ばれる教育のまちづくりを推進します。
住民一人ひとりが持つ文化・スポーツの技能等を活用し、生涯学習・生涯スポーツの活性化を図るとともに、郷土に学び郷土を知る取組を進めます。
多文化共生の時代にあって、差別や偏見のない、ダイバーシティのまちづくりを進めます。

つむ 紡ぐ 3

次世代につなげる 生活環境の充実

道路、公園、水道、公共施設など、多くの人が利用する公共財産を有効に活用するため、利便性の向上と長寿命化を図り、計画的な都市づくりを推進します。
また、SDGsやカーボンニュートラルの理念に則り、持続可能な社会へ貢献することを前提に、公共交通の利便性や定住環境の向上に努め、住民生活の質の向上を図ります。

つむ 紡ぐ 4

地域産業の 持続的発展支援

都市化が進み、農地の減少が進む半面、沿道立地型の商業立地が進んでいます。
農林業の持続的かつ健全な発展を図りながら、企業誘致や起業支援による若者や女性の働く場所を創出します。
観光については、新たな観光資源の発掘、既存の文化遺産をはじめとした地域資源の利活用に努め、近隣・広域での観光ルートの拠点化を進めていきます。

つむ 紡ぐ 5

緊急時対応への 備えの充実

大規模自然災害の頻発、新型コロナウイルスの発生を契機とする感染症への対策、交通量の増加など、あらゆる危機に対応できる強靱な体制の構築と、日常における防災・防犯活動の充実を図ります。
また、災害が起きても被害を最少にとどめ、受けた被害から迅速に回復するしなやかさを備えるとともに、交通事故や犯罪の少ないまちづくりを推進します。

つむ 紡ぐ 6

将来を見据えた 行財政運営の推進

自治会やボランティアへの支援など地域活動等の活性化を促進し、町政と住民がともに力を合わせた協働のまちづくりを推進します。
住民の利便性向上と業務の合理化・効率化に向けて、デジタル社会に対応したスマート自治体への転換を図るとともに、人口増加に起因する厳しい財政状況の中でも未来を担う子どもたちに負担をかけぬよう知恵と行動力で将来を見据えた堅実な行財政運営を推進します。